新技術概要説明資料（１／５）

		登録No.	1041
名称	簡易吹付法枠工（ソイルクリート工法）	収受受付年月日	平成11年3月17日
		変更受付年月日	平成30年2月22日
副題	型枠不要の現場打ち吹付法枠工	開発年	平成6年4月1日
区分	■1.工法　□2.機械　□3.材料　□4.製品　□5.その他　番号：		1
分類	1-1-3.共通工／法面工		
キーワード	■１.安全・安心　■５.公共工事の品質確保・向上 □２.環境　■６.景観 □３.情報化　□７.伝統・歴史・文化 ■４.コスト縮減・生産性の向上　□８.リサイクル　番号：		1 4 5 6

国土交通省への登録状況	申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価（事前・事後）
	中部地方整備局	平成10年9月28日	CB-980023-VE	

開発目標（選択）	■1.省人化	□5.耐久性向上	■9.地球環境への影響抑制	1	10
	□2.省力化	□6.安全性向上	■10.省資源・省エネルギー	3	
	■3.経済性向上	■7.作業環境の向上	□11.品質の向上	7	
	□4.施工精度向上	□8.周辺環境への影響抑制	□12.リサイクル性向上　番号：	9	

活用の効果	従来技術名：現場吹付のり枠工（フリーフレーム）			
1.経済性	■1.向上（40.9%）□2.同程度　□3.低下（　%）	番号：	1	40.9
2.工程	■1.短縮（24.9%）□2.同程度　□3.増加（　%）	番号：	1	24.9
3.品質・出来型	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
4.安全性	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
5.施工性	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
6.環境	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
7.その他	□1.　（定義済みの値なし）	番号：		

開発体制	■1.単独　□2(1)共同研究(民民)　□2(2)共同研究(民官)　□2(3)共同研究(民学)　番号：	1

開発会社	日本植生株式会社	販売会社		協会名	簡易吹付法枠協会

問合せ先			
技術	会社名：簡易吹付法枠協会 担当部署：技術委員 担当者名：植木　忠	住所：〒120-0043 東京都足立区千住宮元町13-13　千住MKﾋﾞﾙ3F TEL：03-5244-1323 FAX：03-5244-1322 mail:	
営業	会社名：簡易吹付法枠協会 担当部署：事務局 担当者名：須磨　清	住所：〒465-0026 愛知県名古屋市名東区藤森2-18 TEL：052-773-4891 FAX：052-773-5105 mail:	

（概要）

吹付モルタルによる法枠と枠内厚層基材吹付による植生の併用工法である。吹付法枠は従来の高価な型枠を使用せず、簡易な組立枠（ガッテンダー・ダイザー）を使用することにより、大幅なコスト縮減を可能とする型枠不要の現場打ち吹付法枠工法である。

新技術概要説明資料（２／５）

新技術名称	簡易吹付法枠工（ソイルクリート工法）	登録No. 1041

簡易吹付法枠工（ソイルクリート工法）

（長　所）①吹付法枠工に比べ、簡易な組立枠を使用するため、地山のならし作業をほとんど必要とせず、地山の凹凸に沿った施工ができる。②直接、地山にモルタルを吹付するため、地山との密着性に優れ、基礎コンクリートを必要としない。③断面形状が欠円状であるため表流水の排水性に優れる。④枠が縦横に連続しているため、地山表層の剥離崩壊に対して抵抗力を持つ。⑤優れた生育基盤と強固な緑化基礎工とにより、長期間安定した緑化を図ることができ、景観性に優れる。

型枠不要の現場打ち吹付法枠工
小規模の表層崩壊法面防止機能を有しているが、中規模以上の崩壊防止機能は有していない

（施工方法）

①法面清掃：法面のゴミ、浮石、浮土、浮根等を除去し、崩壊箇所等の等しい凹凸は整形処理する
②ラス張工：金網が法面の凹凸に馴染むよう確実に固定する。
③配筋工：規定の枠になるよう鉄筋を配筋する。
④組立枠設置工：鉄筋の各交点に組立枠（ガッテンダー・ダイザー・テトライザー）を設置する。
⑤交点アンカー打設工：各交点に主アンカーを打設し、確実に固定する。
⑥枠シート工：モルタル吹付に先立ち、枠内厚層基材吹付箇所をシートで養生し、モルタルの飛散付着を防止する。
⑦枠吹付工：配筋した鉄筋に沿って、格子状に吹き付け平均枠規格の欠円状に仕上げる。

（施工単価等）	□1(1).歩掛りあり（標準）　□1(2).歩掛りあり（暫定）　□2.歩掛りなし	１（１）
掲載刊行物	建設物価（　有　・　無　）　掲載品目（ソイルクリート工　Mタイプ）	
	積算資料（　有　・　無　）　掲載品目（ソイルクリート工ダイザタイプ1500）	
その他（カタログなど）	（【ソイルクリート工法　A・Mタイプ】カタログ　）	

①ソイルクリート工Aタイプ　施工規模1,000㎡以上　@１０，０８１／㎡
②ソイルクリート工Mタイプ1500　施工規模1,000㎡以上　@１１，５８２／㎡
③ソイルクリート工ダイザタイプ1500　施工規模1,000㎡以上　@１３，５２４／㎡
④ソイルクリート工ダイザタイプR1500 施工規模1,000㎡以上　@１５，２０８／㎡
⑤ソイルクリート工テトラタイプ1500 施工規模1,000㎡以上　@１５，５７２／㎡
⑥ソイルクリート工テトラタイプR1500施工面積1,000㎡以上@１５，９９６／㎡

①【ソイルクリート工法平成２９年度総合積算資料】

施工管理基準資料等

①【簡易吹付のり枠工設計・施工指針（案）ソイルクリート工】

新技術概要説明資料（３／５）

新技術名称	簡易吹付法枠工（ソイルクリート工法）	登録No.	1041

（適用条件）

（適用できる条件）
①地質は土砂から中硬岩まで適用できる。②標準としてのり面勾配１：０．６よる緩勾配の自然斜面および切土・盛土の造成法面に適用する。③機会プラントヤードから施工のり面までの距離が直高45m以上もしくは水平距離が100mを超える場合は長距離・高揚程の吹付システムを併用する

（適用できない条件）
①原則として安定勾配で自立している斜面および造成されたのり面に施工する

（設計上の留意点）
①表層の滑落または小崩壊の規模を予測し、ノモグラムを利用して適用工法タイプを選定する。
②枠内植生工は、厚層基材吹付工を標準とし、吹付厚は地山の状態、降水量および勾配によって決定する。

（施工上・使用上の留意点）
①組立枠（ガッテンダー）を必ず使用し、所定の枠断面・鉄筋の位置を確保する。②枠内植生工は、植生基材吹付工を標準とし、吹付厚は地山の状態、降水量および勾配によって決定する。

（残された課題と今後の開発計画）
吹付システムの開発

（実験等作業状況）

（添付資料）

【簡易吹付のり枠工設計施工指針（案）資51】NAF-6によるモルタルのひび割れ抑制試験

その他

特　許	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　□3.出願予定　□4:無し	番号	1
		特許番号	2694330
実用新案	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　□3.出願予定　□4:無し	番号	0
		新案番号	

評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号
	95209	1010
	証明年月日	証明年月日
	1996.6.20	1998.10.16
	制度等の名称	証明機関
	斜面緑地の緑化工法の開発	（財）土木研究センター
	制度等の名称	制度等の名称
その他の制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号
	証明年月日	証明年月日
	証明機関	証明機関
	証明範囲	証明範囲

新技術概要説明資料（４／５）

新技術名称	簡易吹付法枠工（ソイルクリート工法）	登録No. 1041

施工実績

実績件数	公共機関:	民間:

発　注　者	施工時期	工　事　名	CORINS登録No.
静岡県浜松市役所	平成28年4月	H27市単独災害復旧事業林道堀切線災害復旧工事	
静岡県島田土木事務所	平成28年5月	H27(一)静岡朝比奈藤枝線県単災害防除工事	
静岡県浜松土木事務所	平成28年9月	H28門島特定緊急地すべり対策工事（法面工）	
静岡県掛川市役所	平成28年12月	H28辺地対策事業市道居尻黒俣線道路改良工事	
静岡県島田土木事務所	平成29年1月	H28(主)川根寸又峡線社会資本整備総合交付金(県道道路改築広域)工事	
国土交通省　沼津河川国道事務所	平成29年1月	H28　1号笹原山中BP笹原新田地区道路建設工事	
静岡県静岡土木事務所	平成29年2月	h28坂本急傾斜地崩壊対策(一般・大規模)(防災・安全交付金)工事	
静岡県富士土木事務所	平成29年6月	下柚野瀬戸山急傾斜地崩壊対策工事	
静岡県牧之原市役所	平成29年10月	市道壱丁田線新設工事　1工区	
静岡県島田土木事務所	平成29年11月	(一)川原平急傾斜地崩壊対策(一般その他)工事	

新技術概要説明資料（５／５）

新技術名称	ソイルクリート工	登録No.　1041

施工前

完成

ﾗｽ張付工

配筋･組立工設置工

法枠吹付工

枠内植生基材吹付